





















道標番号 4

ウブカー御嶽【うぶかーうたき】



伝説道標概要

沖縄製糖から至る国道390号の川崎入口左手20メートルにあり満潮の時  
には潮が寄せて来るところにあるかなり水量豊富な井泉で、流れ出た水  
は河原が石積みの水路を流れて海に流れ込んでいる。ウブカーの名の由  
来はこの水量の多さから名づけられたと思われる。御嶽は、その井泉の湧  
き口の上の道路沿いにある。このウブ井泉及びその周辺は、平成14年度に  
公園として整備され、ウブ井泉に降りる階段が作られ、ウブカーの湧き口  
近くの水路には橋がかかっている。この御嶽では、旧暦の2月と6月にヤブ  
ヅミ、また旧暦の2月には水ダミの行事が行なわれる。この御嶽は水の神  
として知られ、日照りが続くところこの御嶽で雨乞いとする。



























































遺跡番号 5  
ヌース' マー御塚【ぬーす' まーうたき】



伝説遺跡概要  
国道300号線をウパー側から上地方側へ約50メートル進んだ左手  
前方にクワノハエノキを中心にこんもり茂った雑木林の丘が目につく。  
そこが目指す「ヌース' マー御塚」である。言い伝えによれば、その昔、  
宮古に大津波があった時、この丘だけ波に飲まれることなく取り残さ  
れ津波の被害がなかった。そのため村人の崇めるところとなり「ヌース'  
マー御塚」と名づけられたという。ちなみに、「ヌース'」とは、川俣の方言  
で、上る或いは乗る、登るの意味を持ち、マーはマースが訛ったものと  
考えられ覆れや残りの意味を持ち、「ヌース' マー」は、「ヌース' マース」  
(意味: 乗り残し)に由来すると考えられる。

















